

特定小電力ハンディトランシーバー  
(総務省技術基準適合品)

# DJ-PB20

**B/R/W/Y/BA/RA/WA/YA  
BK/RK/WK/YK/BM**

## 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。  
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

**アルインコ株式会社 電子事業部**

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541  
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ビル13階 TEL.06-7636-2361  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコビル2階 TEL.092-473-8034

**アフターサービスに関するお問い合わせは**  
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。  
受付時間 / 10:00~17:00 月曜~金曜 (祝祭日及び12:00~13:00 は除きます)  
ホームページ <https://www.alinco.co.jp> 「電子事業部」 「通信技術」をご覧ください。

PS1058  
FNFF-NJ

## 使用前のご注意

**■ご使用環境**  
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

**■分解しないで**  
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

**■ご使用禁止場所**  
本機は微弱電波を使用するため病院や介護施設でもお使いになれますが、事前に医療機器管理者の許可を得てお使いください。  
航空機内など無線機や携帯電話の使用が制限される場所では指示に従ってください。

日本国内でのみ使用してください。  
This product is permitted for use in Japan only.

**■通信距離**  
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。  
・海上、山頂など条件のよい所 : 2km またはそれ以上  
・河原など障害物のない平地 : 500m ~ 1km 程度  
・見通しのない道、郊外の住宅地 : 500m 程度  
・市街地のような障害物の多い所 : 200m 程度

**注意** ローパワー時は、半分以下になります。

## 特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

### 3分制限 (3分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

**注意** 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たないと次の送信はできません。

### キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

**注意** ビープを OFF にしているとき、アラーム音は鳴りません。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	<b>危険</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	<b>警告</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△ 記号は、注意 (危険・警告含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け) が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**警告・注意**

**■使用環境・条件**

- この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあって、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。 This product is permitted for use in Japan only.
- この製品どうし、または他のトランシーバーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。
- 指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。運転者が使用するときには車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型トランシーバーを運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
- 病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。トランシーバーを使用したことにより、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がリ、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。
- 電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。
- 衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

## 付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

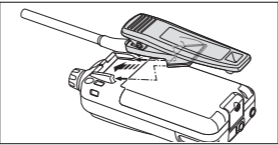
ベルトクリップ  取扱説明書 (本書)

ハンドストラップ  保証書

**注意** 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

### ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。  
取り外すときはロックレバーを押さながら下方向へスライドします。



**注意** ベルトクリップを破損・紛失した場合はご購入が可能ですが、販売店へご用命ください。

### ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。



## 電池の入れ方

①カバーを開ける  
ロックを外してカバーを開けます。

②電池を入れる  
+/- の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。

③カバーを閉める  
カバーを閉めロックをかけます。

**注意** 種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。市販の単三形充電池はご使用になれません。しばらく使用しないときは電池をトランシーバーから取り外してください。電池を入れたままで液漏れすると修理できなくなります。電池カバーやダイヤルツマミは補修部品としてお求めいただけます。販売店へご用命ください。

- 電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
- 病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。トランシーバーを使用したことにより、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がリ、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。
- 電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。
- 衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

## ■トランシーバー本体の取り扱いについて

- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。
- アンテナを誤って目などにささないようにしてください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。
- マイク部にシール類を貼らないでください。相手に音声が聞こえなくなります。
- このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。
- 防湿保護には条件があります。水などでぬれやすい場所 (風呂場など) では使用しないでください。故障の原因となります。
- 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- 水をかけたり、水が入ったりしないでください。また故意にぬらさないようにご注意ください。故障の原因となります。
- 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- イヤホン/マイクロホン端子にはオプションのイヤホン/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となります。
- 衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

## 充電電池および充電器 (オプション)

充電電池、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。

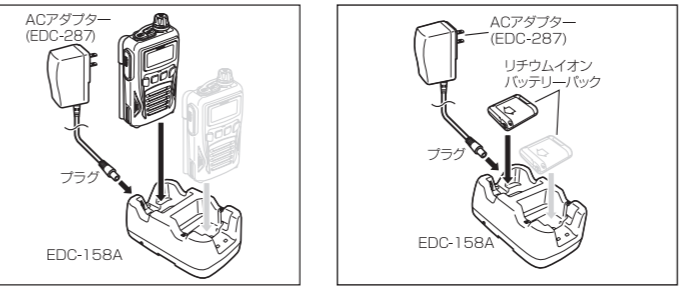
リチウムイオンバッテリー EBP-70 (3.7V / 1000mAh)  
ツイン充電器セット EDC-158A  
ツイン連結スタンド EDC-158R (最大4個まで連結、8台の充電)  
連結充電用 AC アダプター EDC-162  
シングル充電器セット EDC-184A

\*Ni-MHバッテリーEBP-25NHとEDC-109J/EDC-1115は生産を終了しました。  
EBP-70と専用充電器にお買い換えください。

**注意** 充電電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電電池を充電することはできません。充電中はトランシーバーの電源を切ってください。

### リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電 (EDC-158A/EDC-184A)

- リチウムイオンバッテリー EBP-70 を極性に注意してトランシーバーに装着します。
- ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
- ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- 電源を切ったトランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。EDC-158Aは2台同時に充電することもできます。
- 充電が開始され赤ランプが点灯します。
- 完了するとEDC-158は赤ランプが消灯、EDC-184Aは緑ランプが点灯します。
- バッテリー単品で充電することもできます。空のバッテリーを約2.5時間で満充電にします。バッテリーの極性に注意して充電スタンドに装着してください。



**注意** 充電ランプの動作について、バッテリーが満充電に近いと充電開始を知らせるランプが点灯しないことがあります。このようなときは、しばらくトランシーバーを使って減電池表示が出たら充電してください。これは過充電を防止する回路が働いているためで、故障や異常ではありません。充電器の前方のポケットではランプが点灯するが後方のポケットでは点灯しない、あるいはその逆の動作をする場合も、しばらくトランシーバーを使って電池を使い切ってから充電してください。充電開始を検知する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが、異常ではありません。

## ■充電器の取り扱いについて

- 充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。
- ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 充電器の AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。
- 充電器の AC アダプターを熱器具に近づけたり、水などで濡らさないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の AC アダプターを熱器具に近づけたり、水などで濡らさないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。
- 充電器の AC アダプターを熱器具に近づけたり、水などで濡らさないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。
- 季節、気温に関わらず、電池を以下の場所に置かないでください。発火、やけどの危険があります。
  - 直射日光が当たる場所
  - 暖房、調理器具など熱源の近く

## ■異常時の処置について

- 以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。
  - 異常な音が生じたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
  - 落としたり、ケースを破損したりしたとき
  - 内部に水や異物が入ったとき
  - AC アダプターのコードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)
- 雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

## ■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。  
ペンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。洗浄剤などを直接トランシーバーに吹きかけないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

## ■注意

リチウムイオンバッテリーは定格電圧 (50%充電程度) での保存が推奨されています。特に電池が減ったまま保存すると数ヶ月で充電ができなくなることがありますので、定期的に充電して補充するメンテナンスをおこなってください。充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。それでも充電できないときは異常です。サービスセンターにご相談ください。

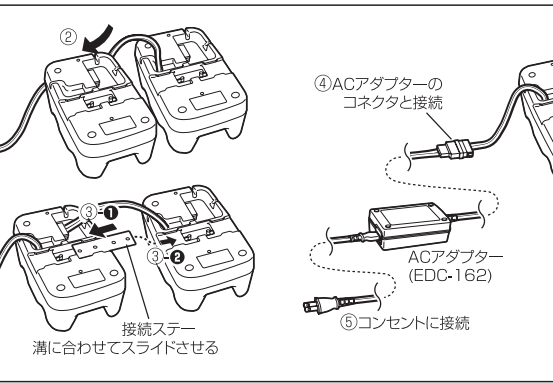
## ■警告

Li-Ionバッテリーは正しく取り扱わないと、破裂、火災、やけどの原因となります。「安全上の注意」をよくお読みください。正しく使っても劣化しますので3年を目安、長くても5年以内に新品に交換してください。長く使うほど事故のリスクが高くなります。

## 連結スタンド EDC-158R による充電

EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量の AC アダプター EDC-162 が必要です。台数に関係なく、空のバッテリーを約2.5時間で充電します。

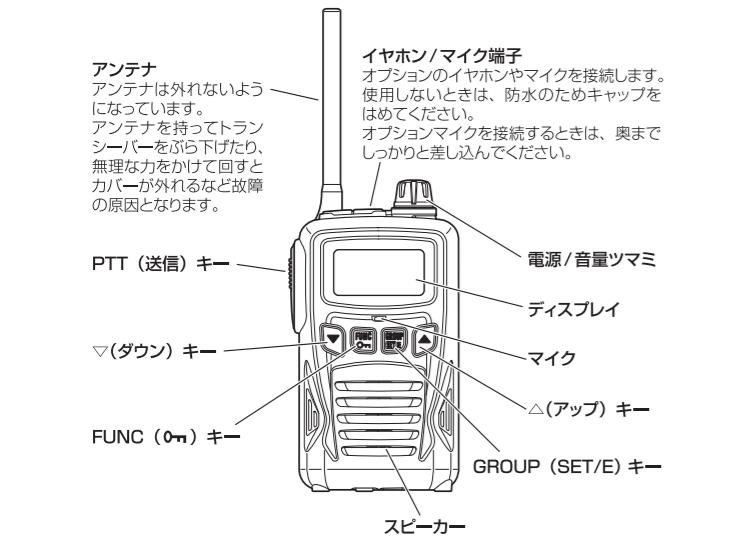
- ACアダプターが EDC-162であることを確認します。
- スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
- 付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
- ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
- ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- 電源を切ったトランシーバーまたはバッテリー単品を充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始され赤ランプが点灯します。最大8台まで同時に充電することができます。
- 充電が完了すると赤ランプが消灯します。





## 各部の名前とはたらき

**前面部**.....



**ディスプレイ**.....



.....

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

**交互通話**.....

**電源を入れる**

電源 / 音量ツマミを時計方向に回します。

**音量を調整する**

電源 / 音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。マキーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

**チャンネルを合わせる**

マまたは△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

**受信する**

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

**メモ** 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザツ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

**送信する**

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プブブ」が鳴り送信できません。[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

**コールトーン機能**

送信中にマまたは△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。マと△キーでは音色が異なります。

## セットモード

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

**セットモードにする**.....

- [FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。→セットモードに入り項目が表示されます。
- [SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- マまたは△キーを押して設定値を変更します。
- [PTT]キーを押して設定を完了します。

**メモ** セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。https://www.alinco.co.jp/「電子事業部」「通信技術」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ / Li-Ion / Ni-MH)	AL / Li / ni	AL
CP-oF	コンバンダー (雑音低減)	OFF / ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知送信)	OFF / Lo / Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF / ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音量 (操作音)	OFF / Lo / Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF / ON	ON
bL-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF / ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF / 5 秒 / ON	5 秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF / ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ (送信禁止)	OFF / ON	ON
Er-on	イヤホン断線検知	OFF / ON	ON
Cb-oF	コールバック	OFF / ON	OFF
Po-Hi	送信出力 (Hi：10mW / Lo：1mW)	Lo / Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能 ([SET/E] 長押しで通報)	OFF / ON	OFF

.....

**グループトーク機能**.....

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

**[GROUP] キーを押す**

→グループ番号が点灯します。



.....

[FUNC] キーを押しながらマまたは△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01～50を選択できます。



**送信する**

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

**キーロック**.....

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

**簡易キーロック (Loc1)**

[FUNC] キーを約2秒押します。→「Loc1」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



.....

**通常キーロック (Loc2)**

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押します。

→「Loc2」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

.....

## 故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。  3分の通信制限時間を超過している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 PTTキーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。  充電機が専用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。  専用充電機 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。
ディスプレイに「Er-nG」と表示される。	イヤホンマイクやイヤホンが断線している。 イヤホンマイクやイヤホンが正しく接続されていない。	イヤホンマイクやイヤホンを交換してください。 イヤホン/マイク端子に異常がないか確認してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

.....

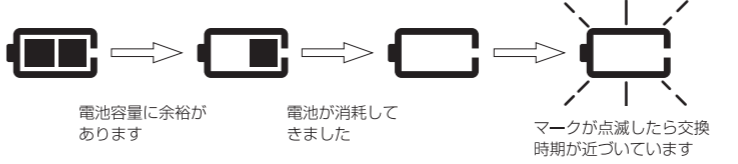
**製造中止製品に対する保守年限に関して**

生産終了製品に関しては下記的一定期間補修用部品を常備しています。不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

.....

**減電池表示**.....

電池の残容量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON / OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

**メモ** 「電池選択 (セットモード) 設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。」

**リセット**.....

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。→ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。→工場出荷状態のL01チャンネルになります。

**その他の機能**

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。https://www.alinco.co.jp「電子事業部」「通信技術」内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

**デュアルオペレーションモード**

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

**メモ** 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すとき正常な状態に回復することがあります。

## オプション一覧

EBP-70	Li-Ionバッテリーパック (1000mAh)	EME-522A	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A	シングル充電器セット (EBP-70用)	EME-762PA	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-158A	ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME-762MA	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-158R	ツイン連結スタンド (4台まで/EBP-70用)	EME-46A*	ヘッドセット
EDC-162	連結充電用ACアダプター	EME-53A*	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A*	イヤホンマイク (グレー/カナル型)	EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア型)
EME-21AB*	イヤホンマイク黒 (黒/カナル型)	EME-26	カールコードイヤホン (オープンエア型)
EME-57A*	イヤホンマイク (カナル型/耳かけ付)	EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EME-29A*	イヤホンマイク (耳かけ型)	EMS-59	スピーカーマイク (PTTホールド、VOX使用不可)
EME-39A*	咽喉イヤホンマイク	ESC-61	ソフトケース
EME-652CA	イヤホンマイク (カナル型)	EDC-109J	ツイン充電器セット (生産終了 EBP-25NH用)
EME-652MA	イヤホンマイク (耳かけ型)	EDC-115	シングル充電器セット (同上)

毎日マイクをお使いの場合は\*付きの業務仕様をお求めください。頑丈で、故障の際も買い替えよりリーズナブルに修理ができます。

.....

**チャンネル表示**

L01	422.2000MHz	b01	422.0500MHz
L02	422.2125MHz	b02	422.0625MHz
L03	422.2250MHz	b03	422.0750MHz
L04	422.2375MHz	b04	422.0875MHz
L05	422.2500MHz	b05	422.1000MHz
L06	422.2625MHz	b06	422.1125MHz
L07	422.2750MHz	b07	422.1250MHz
L08	422.2875MHz	b08	422.1375MHz
L09	422.3000MHz	b09	422.1500MHz
		b10	422.1625MHz
		b11	422.1750MHz

.....

**定 格**

送受信周波数	422.0500MHz～422.1750MHz / 422.2000MHz～422.3000MHz
電波形式	F3E (FM)
送信出力	10mW / 1mW
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)
音声出力	400mW以上 (本体スピーカー) / 80mW以上 (外部出力)
通信方式	単信
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)
動作温度範囲	-10～+50℃
寸法	幅54.8mm×高さ94mm×厚さ27.3mm (突起物除く) アンテナ上方向状態の全高さ165.4mm
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)

参考：生産を終了したニッケル水素バッテリー-EBP-25N/NH (充電機) の充電・極性に注意して充電池を無線機に装着、付属ACアダプターをAC100Vに接続します。電源を切った無線機の向きに注意してスタンドのポケットに挿入します。

■EDC-109J 急速充電器  
赤ランプ点滅が緑点灯に変ったら完了です。空の充電池を約2時間で充電しますが電池残量によって変わることがあります。電池残量があるのに補充電を繰り返すと電池劣化を早めます。赤と緑のランプ点滅は異常の表示です。サービスセンターにご相談ください。

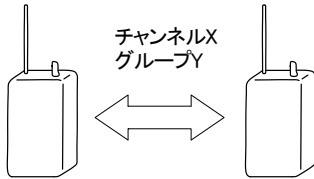
■EDC-115 トリクル充電器  
無線機に減電池表示が出てから充電します。電池残量があるのに補充電を繰り返すと使える時間が短くなるメモリー効果の原因になります。ポケットに入れると赤ランプが常時点灯します。消灯はしません。12時間程度経過したら取り出して、電池残量表示を確認ください。12時間を過ぎて通電しても直ちに故障することはありませんが、1日単位で放置するようなことを繰り返すと劣化、発熱、故障の原因となります。  
\*市販の単三形充電池は充電できません。  
\*充電器は補修用部品として保守年限期間中はサービスセンターで在庫しています。

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

# すぐにつながる「ACSH(アクシュ)」機能

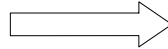
ACSH機能を使えば、チャンネルとグループ番号を自動設定できます。

既に使用している特定小電力トランシーバー 設定もと(設定済み)



弊社製品および他社製品

電波を検出し  
自動設定します



本機(追加導入)



本機の電源を切った状態で、GROUP (SET/E) キーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイにチャンネルが表示されますが、「ピピピピッ」という音が鳴り、表示が“AcSH”という文字の点滅に変わるまでGROUP (SET/E) キーをそのまま押し続けます。(約7秒間)



設定もとのトランシーバーを送信状態にします。



本機が電波の検出を開始します。このまましばらくお待ちください。数秒から最長2分程度を要することがあります。



電波を検出すると、「ピピッ」と音が鳴り、ディスプレイに“Ac-rn”と表示されます。設定もとのトランシーバーは送信状態にしたまま、しばらくお待ちください。



自動設定が完了すると「プルルルル」と音が鳴り、ディスプレイに“00”と表示されます。



設定もとのトランシーバーの送信を停止してください。



本機は自動的にキーロックが設定され、再起動します。既に使用している設定もとのトランシーバーと通話できることを確認してください。



- ※ 同時通話には対応していません。DJ-PB27のACSH機能について、半複信中継器が発する電波を検出するときは外来電波による誤検知を防ぐため中継器の近くでおこなってください。
- ※ 詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード

PF0384